
特別講演会のご案内

- 日 時：令和5年1月23日（月）12:50～16:10（受付開始 12:20）
- 会 場：鹿児島大学工学部 稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール
- 参加費：無料
- 土木学会 CPD プログラム 認定番号：JSCE22-1660

～特別講演会テーマ～『コンクリートの劣化現象および材料開発に関する最新の取り組み』

12:50～12:55 開会挨拶

12:55～13:55 講演①『機械学習と数値シミュレーションを融合した塩害環境評価技術の開発』
講師：崎原 康平 氏（琉球大学 工学部 環境建設工学科 准教授）

13:55～14:00 休 憩

14:00～15:00 講演②『火災によるコンクリート構造物への被害』
講師：木野瀬 透 氏（一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部）

15:00～15:05 休 憩

15:05～16:05 講演③『火山ガラス微粉末を用いたコンクリートの諸特性』
講師：花岡 大伸 氏（金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授）

16:05～16:10 開会挨拶

（講演概要）

コンクリートは社会基盤を構成するもっとも重要な材料の一つであり、土木、建築分野を問わず幅広く使用されている。その一方で、コンクリート構造物は様々な劣化現象が生じることが知られており、例えば、海洋・海岸域に位置する鉄筋コンクリート構造物は、塩害による構造物の早期劣化が懸念されることから、合理的な塩害対策や維持管理を行うための塩害環境評価法の確立が望まれている。さらに、火災を伴う事故が発生した際には、その受熱温度により構造物の諸性能が著しく低下することから、火害を受けた際には劣化程度、構造物の残存性能を正確に判断することが重要となる。

また、昨今の脱炭素化社会に向けた動きの中で、セメント材料の使用量を削減した、あるいはセメントを一切使用しない建設材料の開発が活発になっており、これまでにない全く新しい材料、あるいは産業副産物、未利用資源の有効利用など、様々な観点から材料開発が進められている。

本講演会では、これらコンクリート構造物の劣化、およびコンクリート材料の開発に関わる最新の取り組みについて紹介する。

<参加申込・お問い合わせ先>

一般社団法人構造物診断技術研究会 事務局（徳永）

TEL：099-285-8479 E-mail：rodts@oce.kagoshima-u.ac.jp